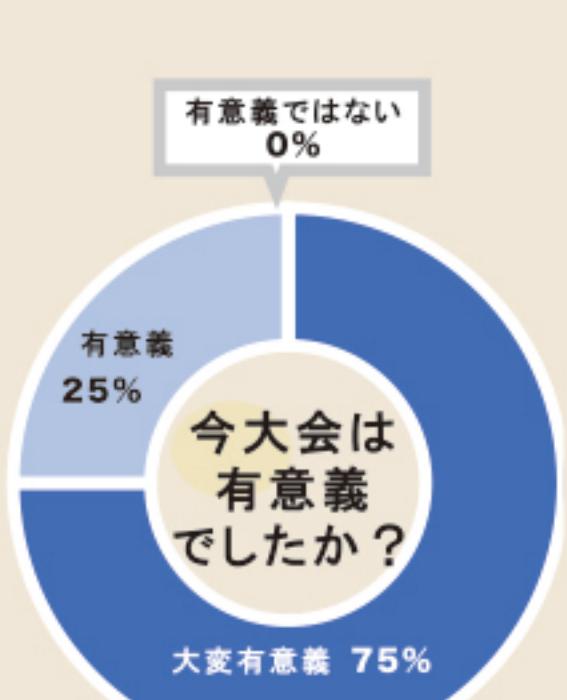
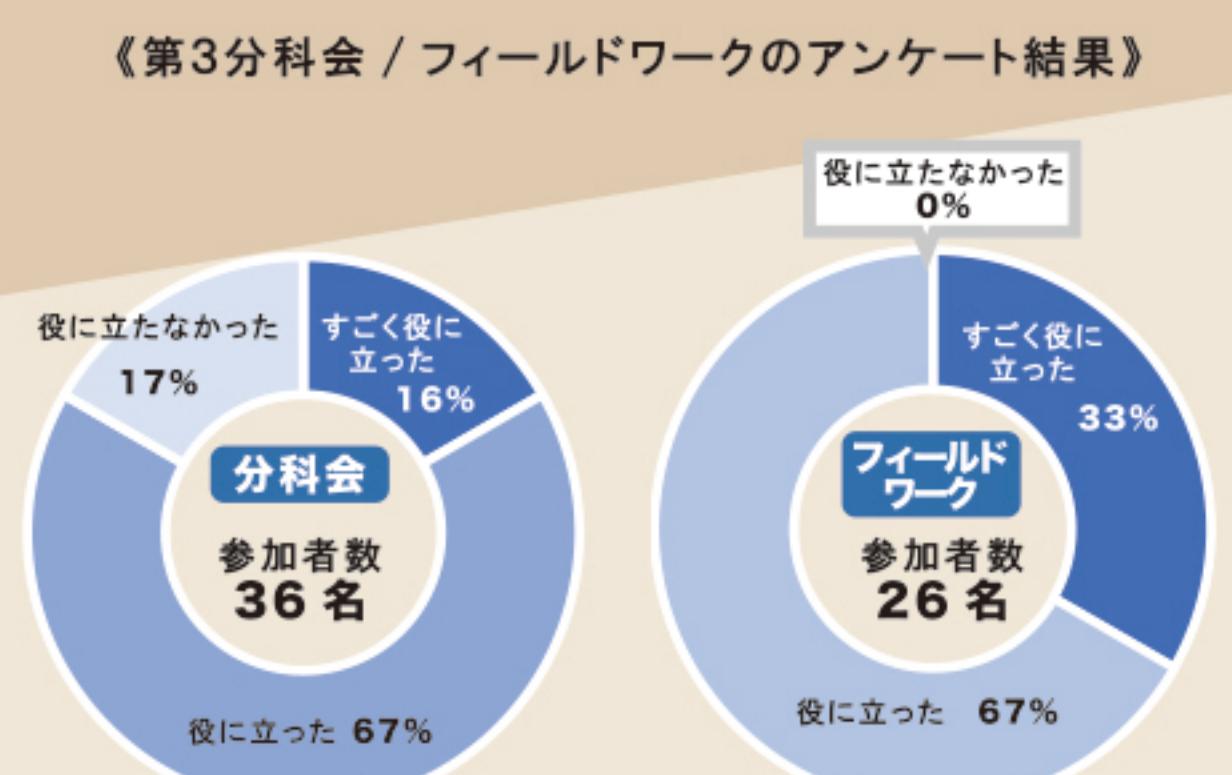


川町役場職員でありお茶農家でもある渡辺憲正さんが、お茶の新しい可能性について話され、「初めてお茶に関する講座を受けて勉強になりました」「お茶の知識が広がりました」など、好評を博しました。

第2分科会では揖斐川町から山田泰珠さんが加わり、新しい視点での特産品開発のアイデアに「異なつた視点で携わる方々のお話を聞いて固定概念にとらわれず柔軟な考え方方が大切だと改めて感じた」「お茶を飲むことだけじゃなく種を利用するなど勉強になりました」など、多くの刺激が得られる講座になりました。「お茶の産地の将来について考えるきっかけになりました」「とても参考になりました。皆さんのが努力してみえるのが勉強になりました」とお二人

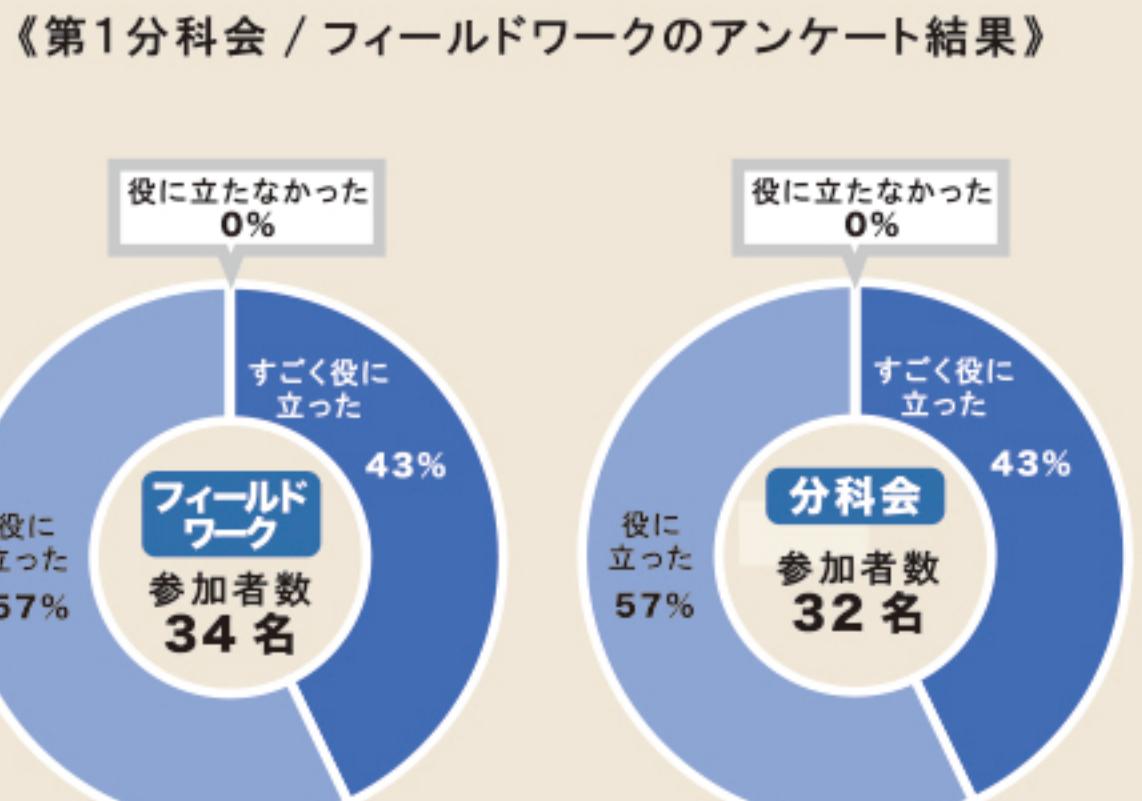


いました。「各実践の方が生き生きと楽しいことを取り組んでいらっしゃることが見学出来てとても有意義だつた」という参加者の感想のとおり、気持ちのいいフィールドでの発見の多い時間になりました。

地域特有の
体験プログラムづくり

の講師に感謝する声が届きました。

の講師に感謝する声が届きました。



に感動した」「つながりが新たなつながりを生むというところにとても共感しました」など、ほんとうにたくさんの感動の声が寄せられました。「観光」に対する新しい視点を提示され、「不便さを価値として売りにする考えはとても刺激になりました」「地方（地域）を潤すこと

若い世代がリードするグリーン
ツーリズムの新しい躍動が見えた！

の重要さがよくわかつた」な
新しい気づきがたくさん生ま
た基調講演でした。

した。
第1分科会では、白川町グリーンツーリズム協議会のお二人に加えて、郡上市高鷲町を拠点に活動している「一般社団法人たかすのす」の蓑島俊輔さんと上村佑太さんが加わり「エリアで発信する拠点づくり」と題して、地域で農泊を実践するた

基調講演のあとは白川町の有機農家「暮らすファーム sunpo」さんの美味しいランチをいただいて、3つのグループに分かれていでフィールドワークに出かけました。

第1フィールドワークは、「kurokawa ウォークラリー」と題して、白川町グリーンツーリズム協議会の塩月洋生さん祥子さんのお二人が、白川町黒川地区を案内しながら地域の魅力を発見するクイズラリーを行いました。

《第1分科会 / フィールドワークのアンケート結果》

地域にある宝物を丹念に紹介しながら歩くウォーキングラリー

フィールドワーク
参加者数 **34名**

役に立った	割合
役に立った	57%
役に立たなかった	43%

分科会
参加者数 **32名**

役に立った	割合
役に立った	57%
役に立たなかった	43%

地域にある宝物を丹念に紹介しながら歩くウォークラリーに、参加者から「時間を共有する大切さを実感しました」との声が上がり、黒川地区での濃密な時間を共有することができま

努力とアイデア 地域の活力を生

第2 フィードバックでは、白

参加者から「今、農泊を始めています。これからも頑張つてみる気持ちになりました」という声をいただきました。